

「竹材のチップ化と竹柵の製作」

四十万木の駅プロジェクト実行委員会

竹のチップ化作業

破砕機稼働中



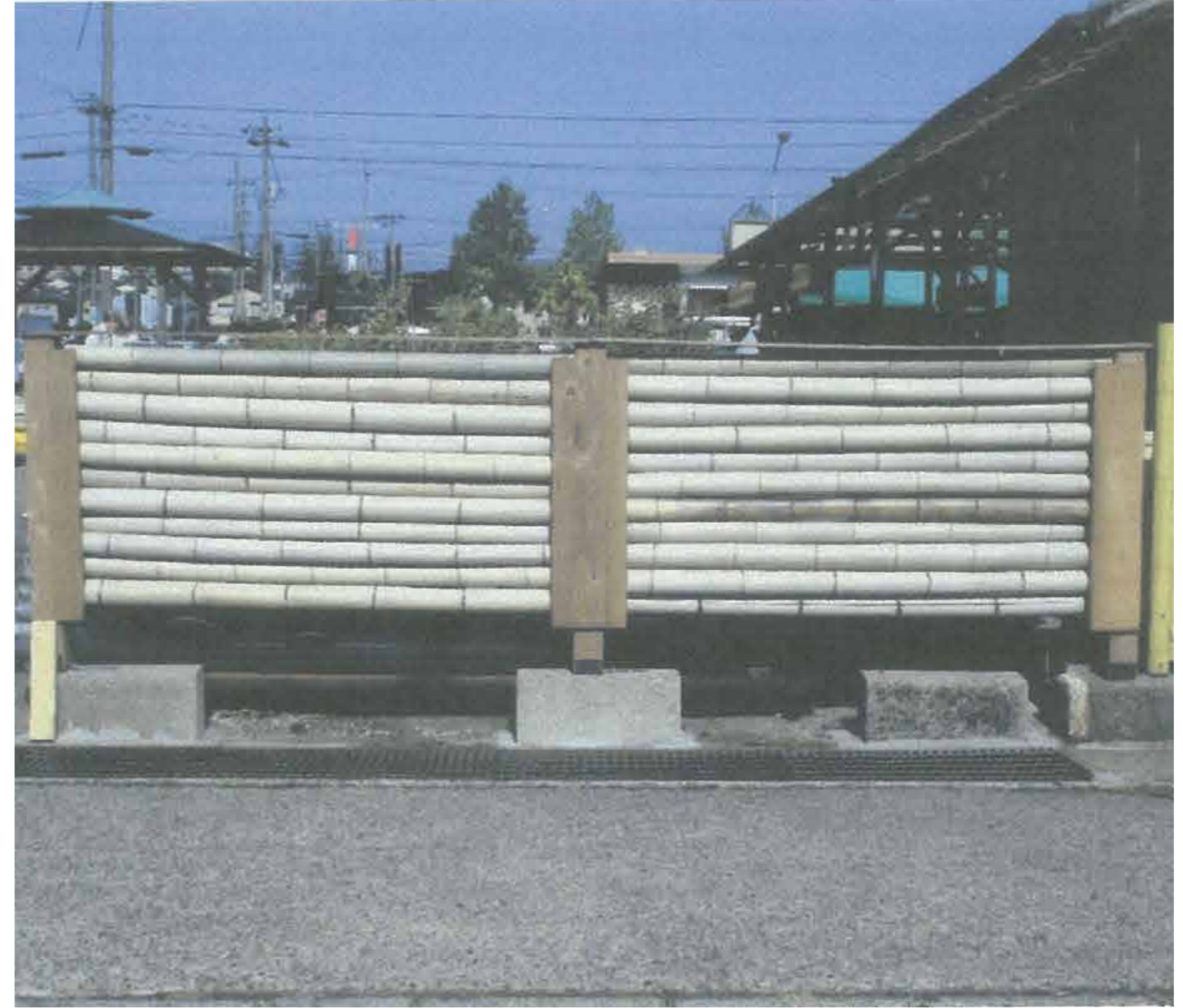
トン袋への積み込み作業



竹柵の製作

竹柵展示状（ホームインホーム有松店）

2016.5.14



竹垣製作作業

竹の伐採（高尾山）



焼け竹作り

2016.6.26



- かつての自然の恵み豊かな里山が山林所有者の高齢化、後継者難等が進む中でその恵みの山がお荷物になりつつある今、平成26年6月、地元有志で立ち上った「四十万木の駅プロジェクト実行委員会」が主体となって、山と地域を元気にするため、当該地域の森林整備を行うこととした。
- その中で竹林については、地域の竹林所有者等に不要竹を伐採していただき、それを地域通貨「森券」で買い取り、その竹をチップ化して、平成26年12月から資源活用業者に売り渡し、炭化した燃料としての活用を促すこととした。
- また、平成28年7月から、民家や施設等の塀垣に竹を活用して自然の趣のある景観を創出する事業を展開することとしている。

審査委員コメント

山と地域を元気にしようとするプロジェクトであり、子どもたちに山林の大切さを伝えたり、地域通貨を活用し、荒廃竹林の整備（里山の保全）を図りつつ、不要木となる竹を未利用資源として活用している点を評価します。